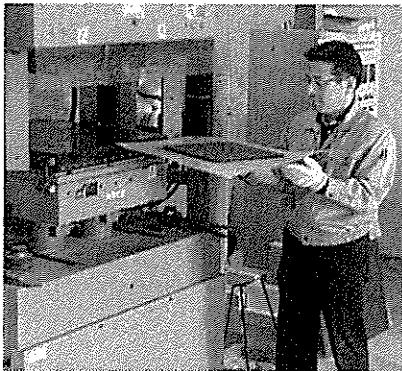


人・木材に優しい 弱酸性接着剤

糖とリン酸
化合物混合

ホルムアルデヒド含まず

京大



(開発した接着剤を使ったパーテイクルの試験製造(梅村准教授提供))

家具やフローリングの床などで使われるパーテイクルボードは、木材片を接着剤と混ぜ合わせて高熱で圧着処理して作る。通常、木材用接着剤は尿素やメラミンなどとホルムアルデヒドを反応させて生成する。

梅村准教授は2011年に糖とクエン酸、木の皮の成分であるタンニンを混合した接着剤を開

京都大学生存圈研究所の梅村研一准教授は、シックハウス症候群の原因となる有機化合物として知られるホルムアルデヒドを含まない木材用接着剤を開発した。水に溶けやすい糖と天然成分主体のリノ酸化合物で構成している。特許出願済みで現在、製品化を目指して企業と連携の検討に入った。シックハウスの原因物質や石油由来の原料を使わず、量産化、リサイクル性に適しているため、産業分野での用途拡大が見込まれそうだ。

家具やフローリングの

床などを

ウ

ス

と

が

た。

スなど水溶性の高い糖

と天然ガス由来の成分で

でき

た。

た。

た。

リノ酸化合物を混

ぜた。

160度C、3-

5分程度で木質材料を圧

着できる。

日本工業規格

を示すとい

う。

た。

して作成したパーテイク

ルボードなどの木質材料

は、水に浸すと水が弱酸

性を示すようになる。

木

材のみを水に浸した場合

と同等の弱酸性になる格

好だ。梅村准教授は「人

体にやさしい接着剤だ

が、製造された木質材料

も木材自体と同等の弱酸

性を示すため、木材にも

やさしい」としている。